



報道関係者 各位

2026年3月17日

取材のお願い

【桜咲くキャンパスで心身リフレッシュ】

待望の復活！

【3/27開催】「おとなのためのおはなし会」

“生の声”と“お口の体操”で、4月を元気に迎える1時間

2024年度に定期開催し好評を博した「おとなのためのおはなし会」が、待望の復活企画として2026年3月27日（金）に松山東雲女子大学・松山東雲短期大学図書館で開催されます。2024年度の開催時は毎回約30名が参加し、物語の世界を楽しみました。

語り手は「こえ浴♫街の湯♨️」のみなさんで、絵本・紙芝居の読み聞かせに加え、発声・呼吸法（“お口の体操”）も取り入れた内容となっています。参加無料・申し込み不要で、どなたでも参加できます。大学図書館を地域に開放し、地域住民が同じ時間を共有するこの取り組みは、前回もメディアに取り上げられ、「また参加したい」との声が多く寄せられた実績があります。ぜひご取材くださいますようお願いいたします。

◆開催概要

日 時： 2026年3月27日（金） 10：30～11：30

場 所： 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 図書館
（松山市桑原3丁目2-1）

語り手： 「こえ浴♫街の湯♨️」のみなさん

- ・片山 真智子（紙芝居文化推進協議会会員）
- ・住田 優子（切り紙作家）
- ・影浦 紀子（松山東雲女子大学 子ども専攻 教員）

参加料： 無料

申 込： 不要

※プログラムは別添チラシを参照



◆こえ浴とは？

「こえ浴」とは、人の生の声を聴くことで心と体をほぐす、シンプルな健康づくりの取り組みです。絵本や紙芝居の読み聞かせを楽しみながら、発声・呼吸法（“お口の体操”）も一緒に行います。声を合わせることで「共感」と「安心感」が生まれ、孤独感の軽減や気分転換にもつながるといわれています。

◆開催の意義

高齢化やデジタル化が加速する現代、対面で「生の声」を交わす機会が失われつつあります。本学は子ども専攻に「認定絵本士養成講座」を設け、学生による読み聞かせボランティアなど、絵本を軸とした実践的な教育に取り組んできました。絵本は子どもだけのものではありません。人生経験を重ねた大人だからこそ感じられる深い気づきや、癒やしの力を持っています。本学はこうした専門知見を地域に還元し、絵本を孤独対策や心身の健康維持に活かす新しい地域貢献のかたちを提案します。

◆ イベントのポイント

● 発声・呼吸法（お口の体操）について

声を出すことは、高齢者の健康維持にさまざまな良い影響をもたらす可能性があります。
喉や嚥下に関わる筋肉を使うことで嚥下機能の維持が期待され、誤嚥予防に役立つとする報告があります。さらに、副交感神経を優位にしストレスホルモンを減らすことで、心身のリラックスやストレス緩和に役立つと考えられています。

● 本学卒業生が語り手として登壇

語り手の一人、片山真智子さんは松山東雲短期大学の卒業生。NHKパーソナリティ、子育て経験を経て絵本・紙芝居の世界へ。

● 専門知見を地域へ還元する「開かれた大学」の試み

「認定絵本士養成講座」を設ける本学ならではの専門知見を、地域の孤独・孤立対策や健康維持に活用する地域貢献プログラムです。

◆ 語り手プロフィール

片山 真智子 (紙芝居文化推進協議会会員)

松山東雲短期大学卒業後、NHKパーソナリティとして活躍。子育てを機に絵本の世界へ。自宅文庫の開室、幼稚園絵本室で司書としての18年の勤務を経て、現在は高齢者施設での紙芝居・発声活動など、生涯を通じて「ことばと本」を届け続けている。

住田 優子 (切り紙作家)

元幼稚園教員。紙とはさみでさまざまな文様を切り出す紙工芸・切り紙の作家。江戸時代から続く紋切り遊びを起源とする現代の切り紙を手がける。3月19日～24日、初の展示会（二人展）を開催予定。

影浦 紀子 (松山東雲女子大学 教員)

保育・幼児教育を専門とし、絵本や言葉の指導から保育実践まで幅広く担当。日本臨床教育学会常任理事など社会的活動も多数。「一人ひとりの子どもの声を聴きとること」を大切に、教育・研究に取り組んでいる。

Campus Map



※ ご取材いただける際は事前にご連絡いただけますと幸いです。

【発信元・連絡先】

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 広報担当：河淵（カワブチ）
松山市桑原3丁目2-1 電話：089-931-6211(代) Mail：kouhou@shinonome.ac.jp



松山東雲女子大学
松山東雲短期大学

深呼吸して
優しい声を浴びましょう
そしてしなやかな心と体を
取り戻す時間とともに

0歳から100歳まで “こえ浴”

おとなのための おはなし会

参加無料・事前申し込み不要

日時：2026年3月27日 金 10:30～11:30

場所：松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 図書館

語り手：「こえ浴」街の湯のみなさん

- ・ 片山 真智子（紙芝居文化推進協議会会員）
- ・ 住田 優子（切り紙作家）
- ・ 影浦 紀子（松山東雲女子大学 子ども専攻）



プログラム

詩：「くまさん」
わらべうた：「うめとさくらと」
絵本：「ゆっくりがいっぱい！」
紙芝居：「ろくじいさんのゆずおふろ」
手作り絵本：「笑顔で長生き 手のひら絵本」
絵本：「まいごのどんぐり」
絵本：「かみさまからのおくりもの」

内容は変更になることがあります

絵本や紙芝居は子どもだけのものではありません。
人生経験を重ねた大人だからこそ感じられる気づき
や感動、癒しがあります。

プログラム内では"お口の体操"として発声や呼吸法
も実施。声を合わせることで生まれる「共感」と
「安心感」を体感しましょう！

お問合わせ

松山東雲女子大学・短期大学 図書館

〒790-8531 愛媛県松山市桑原3丁目2-1

TEL 089 (931) 6211 (代) 9:00～17:50

担当：武知（たけち）・続木（つづき）